

「パン」は文化だ！！

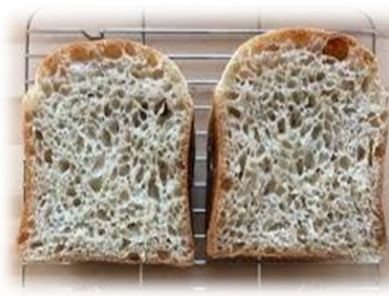
新型コロナウイルス拡散防止で努力して「家」にいる毎日です。よって、お寺の春行事も中止となり、写真のように配布されなかったそのチラシが四分の一に裁断されメモ用紙になるのを寂しく待っています。



我々はいつの頃から必死に努力工夫しなければ家にいることができなくなっただけなのでしょうか。

そんななか、家でパン作りをすることが流行っているそうです。確かに焼きあがる時のあの香りは、重い気持ちに「幸せ」を運んでくれる黄色い天使のようです。そう言えばご飯が炊きあがる時の香りも私たち日本人は「幸せ」を感じます。

今回の新型コロナウイルスがヨーロッパで最初に爆発的に感染したイタリアです。その原因の一つに挨拶にハグやキスの習慣がそうさせたと言われました。イタリアの場合、ランチは一度家に帰ってマンマが作った食事をゆっくりとする習慣があります。毎週末は親戚も含めた 10 人以上の規模になり年老いた両親を囲み楽しく会話と食事をする習慣があります。イタリア映画に出てくる「ファミリーア」というやつですか。ワインを飲みながら大皿に盛られたパスタを取り回している映像をテレビで見たことがあります。お祖父ちゃんお祖母ちゃんに週一度は顔を見せ楽しい時間を共有する。日本が失ってしまった「家族」です。



このようなイタリアの習慣が出来たのは「美味しいパン」の存在です。ヨーロッパ北

部は寒冷地でライ麦しか収穫できないのに対して南部のイタリアでは小麦が収穫でき、美味しいパンやパスタをマンマが作って家で待っていてくれます。それを楽しみに男どもが毎日家庭に帰ったからだそうです。美味しいパンがラテン文化を生み出したと言っても過言ではないでしょう。確かにライ麦パンはパサパサして、家に帰るよりパブにでも寄ってビールを飲むかという心境になりそうです。しかし今回は良きイタリアの習慣が裏目にでました。日本が提唱した「3 蜜」に当てはまりますし、高齢者が多く感染し亡くなられた要因になったようです。コロナが収縮してからもイタリアの「家族」の習慣は残ってほしいと願うばかりです。

先日朝のワイドショーで 28 歳の力士がコロナで亡くなったことを知りました。中学卒業後、真面目で努力の相撲人生だったそうです。この年齢で下位の番付で継続していたということから、本当に相撲が好きだったのでしょう。受け入れてくれる病院もなく、とても切なくなりました。その次ご登場した方がいけません。前日退院した石田純一氏。時節柄電話取材でした。「こんな人は助かってしまうのやなあ〜これが…」。思わず失言でした。ごめんなさい。今後は靴下履いて足首冷やさないようがんばってください。 俊徳丸